



第24号

2026年  
6月25日発行

日本大学国文学会  
同窓会誌



### キャンパス点描

—キャンパスの樹木たち—

これまでキャンパスの特定の植物を紹介したことはあるが、今回は樹木の歴史を紐解きたい。記録に残る最古の樹木は、一号館前で昭和五〇（一九七五）年から時を刻む三本のヒマラヤ杉。一方、平成三〇

（二〇一八）年に再整備された中庭は、武蔵野の雑木林をモチーフに設計されたという。新緑の緑が混じり合うキャンパスは絶え間ない維持管理に支えられ、今日も世代を超えて集う人々に変わらぬ安らぎの木陰を広げている。



1号館前の3本のヒマラヤ杉



中庭の樹木①



大樹の下から見上げる空



中庭の樹木②

## OB・OGだより

## 日本語教師としての二十年

若井 美佳(旧姓 青木)

国語科の教員免許取得を目指し入学した二〇〇一年の秋。建て替え前の図書館で見た『月刊日本語』で日本語教師という職を知った。三年次からは念願の田中先生のゼミで学ぶことができた。(宴会部長を拜命)と同時に、千駄ヶ谷日本語教育研究所の養成講座にも通った。社会人に交じって学び、全ての実習を終えたのは四年生の冬。ちょうど冬ソナブームのころだった。

その後、教育能力検定に合格し、故郷の日本語学校で教師生活一年目を迎えた。授業準備で気が付くと朝ということもあった。九割以上は中国・韓国出身の学生で、「二年で日本語能力試験一級合格」という二ノズに比べ、予備校のような授業をしていた。それが南アジアや東南アジア出身、つまり非漢字圏の学生増加に伴い、授業方法も再考した。現在も授業内で少しでも記憶にとどめて欲しいと、漢字の成り立ちや部首、

個々の漢字が持つイメージを伝えるなど、あの手この手で奮闘している。日本語教師になって二十年経ったが、授業準備をするたびに、今でも受験勉強に追われているような感覚になる。辛くて解放されたいと思うことがないわけではない。

しかし先日、教師になって最初の授業をした時に教室にいた彼が、挨拶周りの折に訪ねてきてくれた。彼は今、母国で日本語学校の校長をしている。私は今、その彼が送り出した学生に教えている。ときどきこんなことがあるから辞められない。

今年もあと数週間で入学式を迎える。

「二〇〇四年度国文学科卒業」

## 学生時代『風』がなぜか続いている

井上 太智

国文学科らしい僕の最近の振る舞いといえば、ひたすら小説を書いていることだと思ふ。日々の出来事を必死にメモし、どうすれば物語にできるか、どう人間が動いたら面白くなるかを毎日、冗談抜きで毎秒のように考えている。それを小説として構築していく。自分で読むと、不思議と画期的

で非常に面白いものに見える。他の人の感想が聞きたくなくて、日大で出会った教授に添削をお願いした。深夜に返信が来る。「面白くない、読むのが苦痛だった」

参考文献として芥川賞の作品が多く送られてくる。必死に読む。最近の新人賞は読みましたか？ 話題のあの作品は読みましたか？ 必死に読む。インプットしてインプットして、そして吐きそうになりながらどうにか原稿上にアウトプットしていく。何が面白いのか、どうすれば「小説」になるのかわからなくなりながらキーボードを叩いた。

「うん、マシになりました」

論文を出してB評価ぐらいの及第点。胸を撫で下ろす。これが先日の話。結局締め切り日の朝四時までかかった原稿をポストに叩き込んで電車に走った。

卒論に追い詰められた大学生みたいなことを今でもしているなと思つた。今の君が勉強している時間がどう将来に役立つか、それはまだ僕にはわからない。ただ今僕が吐かなきゃ手に入らない時間が目の前に腐るほどある。そんな生活は意外といい羨ましいと先輩ぶって文を終えてみる。

「二〇二四年度国文学科卒業」

## 談話室

①

## 日本語は曖昧か？

野田 尚史

私はカフェインに弱く、コーヒーでも紅茶でも緑茶でも一日に一杯が限度です。

限度まで飲んでしまった日に、誰かから「コーヒーでもどうですか」と誘われたら誘いに応じますが、「でも」がない「コーヒーどうですか」と言われたら、コーヒー専門店に行くのかと警戒し、「カフェインに弱いので、ジュースなら」と答えます。

この「でも」は何でしょう。日本語の「コーヒーでもどうですか」に当たる言い方は、英語をはじめ多くの言語では「コーヒーどうですか」と同じになります。

日本語で「でも」を使うのは日本語が曖昧な言い方を好むからだと考えたくなるかもしれません。ですが、むしろ逆です。日本語は、「コーヒー」はコーヒーだけを表すのに対し、「コーヒーでも」はコーヒーだけではなく、それに類した飲み物まで表すというふうに明確に区別します。

日本語と違って「でも」に当たることばがない言語では、「コーヒー」がコーヒーだけを表すこともあれば、コーヒーに類した飲み物まで表すこともあります。そこが曖昧なので、聞いた人はどちらの意味かを文脈によつて判断するしかありません。

「日本語は曖昧だ」とか「日本語は行間を読みとらなければいけない」といった言説を疑ってみると、曖昧さを嫌う日本語の言語現象がたくさん見えてきます。

左に掲載したのは、ACジャパンの支援キャンペーンに選出されブラン・インターナショナルのポスターに掲げられた英語と日本語のキャッチコピーです。女の子の未来を阻む「早すぎる結婚（児童婚）」の現状や課題を知ってもらうためのものです。

I am a child,  
I have a child.

私は、まだ子どもです、  
でも、もう子どもがいます。

このポスターは、QRコードから見られます。



「I am a child, I have a child.」という英語に対する日本語は、「私は、まだ子どもです、でも、もう子どもがいます。」になっていきます。英語にはない「まだ」と「もう」と「でも」が加わっています。英語を直訳した「私は子どもです、私は子どもがいます。」だと、何が言いたいのかがわかりにくく、日本語として不自然です。

英語は「まだ」や「もう」や「でも」といった意味を言語としては表さず、文脈から推測してもらっただけですが、日本語はそうした意味を明確に表すわけです。

欧米の人たちは、明確で論理的なことを好むので、自分たちの言語は明確で曖昧さがないと思いたいようです。一方、日本人たちは自分たちの言語や文化が外国人人にはわかりにくい独特なものだと思いたいので、日本語も曖昧だと思いがちです。

ただ、日本語や他の様々な言語を、先入観を捨てて客観的に分析してみると、日本語は決して曖昧な言語ではなく、むしろ明確な物言いを好むことがわかるはずですよ。

今井邦彦著『あいまいなのは日本語か、英語か？―日英語発想の違い―』（ひつじ書房）もおもしろく、参考になります。

「元文理学部教授」

## 談話室

②

## おいしいパンと、通信と

福尾 晴香

日本大学通信教育部（以下、通信）に着任して、もうすぐ三年目に入ります。通信は市ヶ谷にキャンパスがあり、駅から徒歩三分の靖国通り沿いに一号館と二号館。そこからやや離れて、日本テレビ通りの坂をあげ、二七通りの交差点を右に曲がった先に三号館があります。ここを右に曲がらずに、まっすぐ行くと、いつも行列ができるパン屋「No.4」があります。まだ行っていません。キャンパスは、市ヶ谷にあるこのビル三棟です。

駅の周辺には高級マンションやオフィスビルなどが立ち並び一方で、小中高から大学まで数多くの校舎が点在しており、ビジネスと教育と居住のエリアが渾然一体となった複合的な街となっています。

道を行き交う人々も会社員風のひと、子連れのひとなど様々ですが、そのような人が吸い込まれるように入っていくのが通信の校舎です。学生の平均年齢は、三〇・七

歳で、一〇代から八〇代まで、幅広い年齢の学生が在籍しています（通信HP「データで見える日大通信」より）。

通信教育部というと、自学習が中心で、ほとんどキャンパスに通わないというイメージもあるかもしれませんが、確かに、教材を用いた通信授業や、メディア授業なども充実していますが、通信にはスクリーンが全部で五種類あります。

そのため、通信とはいえ直接、学生と対面して話す機会も多いのです。私の場合、夏季スクーリングという三日間の集中授業では、講義・復習をしながら、あいだに理解を深めるためのグループワークを取り入れています。はじめは、年代の幅広さがあるようにワークに影響するか、少し懸念していたのですが、実際には学生の年齢差が学習の障壁になることは、ほとんどありませんでした。

たとえば、令和六年度の授業で川端康成『伊豆の踊子』とその映画化をめぐるワークを行った際には、ヒロインとなった山口百恵について、若年の学生のほうがむしろ詳しいという逆転現象（？）も起きました。

たびたび、八〇年代アイドルがブームとなっていることも考えれば、とくにめづらしいことではないのかもしれませんが、しか

し、年代を超えて議論する楽しさとはこうした瞬間にあるのではないかと思うのです。山口百恵がマイクを置いた映像をリアルタイムでみただからといって「山口百恵」のことをすべて知っているとはいえません。

同じように、ある出来事と同時代を生きたことが、その出来事の知識を保証することにはならないはず。知識や経験の量に個人差が出るのは当然ですが、知識や経験の種類、深さには濃淡があります。そして、その濃淡こそが、どんなひとでも知的な刺激を与え合うことができる知恵の実なのではないでしょうか。

学歴が過度に意識される昨今ではありますが、「学ぶこと」と大学名は本来、関係がありません。私自身は、様々な学生と話すなかで、いつでも、どこでも、何歳でも学べるということは想像以上に人生を豊かに、楽しくすることだと気がつきました。多様な人生のなかで紆余曲折を経て見える世界や、そこから新たに生み出される思考は貴重なものだと思っています。

通信で出会う人々や、市ヶ谷の雑踏ですれちがう人々それぞれがもつ背景に思いをめぐらせながら、おいしいパンをかじりたと思う今日この頃です。

「通信教育部助教」

# 読書案内

## 旅の本から地域の魅力を探る！

笹生 美貴子



静岡県三島市で生活をはじめて四年目になる。今年度から、観光学・英語学など他分野の先生方と合同ゼミを実施することになった。テーマは「富士山研究」で、先月、静岡県富士山世界遺産センター見学や富士山本宮浅間大社周辺の踏査を行った。こうした活動の中で、私の興味関心も徐々に広がり、今や地域の魅力を探ることで頭がいっぱいだ。

旅に出ると、その地域の古伝承を知ることがある。実際、富士山周辺地域に、富士山へ帰るかぐや姫の伝説や、徐福伝説があるのと知った時は驚いた。今回は、そんな「旅」に関わる書籍を紹介する。

浅見和彦『日本文学気まま旅 その先の小さな名所へ』（二〇一八年、三省堂）は、四七都道府県とモンゴルへの旅を55篇で綴る。『古事記』や井上靖『蒼き狼』など幅広い時代の作品を取り上げ、各土地の魅力について紹介する。例えば、『29路面電車の走る町―愛媛・道後温泉』では、『坊ちゃん』の一節が紹介されている。夏目漱石が四国松山の中学校への赴任経験があることや、道後温泉に頻繁に通っていたことにもふれる。文豪たちによるその土地への深い想いも汲み取ることでできる魅力的な一冊である。

様々な観光地の中でも、特に京都は日本の歴史を深く感じさせる古都である。荒木浩「京都古典文学めぐり 都人の四季と暮らし」（二〇二三年、岩波書店）は、そのことを改めて思い出させてくれる一冊である。本書の特色は、都人の四季を取り巻く暮らしに

密着しつつ、その地（主に京都）で誕生した作品を丁寧に読解する点である。また、「本書全体のゆるやかな案内人」として鴨長明（蓮胤）が設定されているところも面白い。

「団体旅行」はいっ頃からあったのか。「団体旅行」は私たちに、あるいは行く先々に何をもたらすのだろうか。日本の観光文化史に新たな視点を投げかけるものとして山本志乃『団体旅行の文化史―旅の大衆化とその系譜』（二〇二二年、創元社）がある。本書は、「I お参りの旅」「II 学びの旅」「III 親睦の旅」の三部構成である。とりわけ「I」第三章「伊勢参宮から全国周遊へ」では、商人一行（江戸期）の旅の詳細が載る日記（鍋屋嘉兵衛「諸国参詣道中日記」）をもとに、当時の団体旅行の実態を分析している。日本の宿泊施設が一泊二食付を基本としているのは江戸期からの伝統であろうとも指摘されている。当時の道中日記から、日本特有の旅文化のありようが垣間見られるところが興味深い。なお、嘉兵衛の日記には、安倍川餅や、日坂わらび餅など、ご当地名物も記されており、日本のフードツーリズムの魅力を探ることにもつながりそうだ。

各地域には、歴史・古伝承・食など多くの魅力がある。それらは、町おこしなど地域活性化の起爆剤にもなり得ている。皆さんも、旅に関する本を手にとって地域の魅力について考えてみて欲しい。

「国際関係学部准教授」



## 佐久本ゼミ

(佐久本佳奈助教担当)

水曜5限

佐久本ゼミでは近現代文学の研究を行っています。卒業論文のテーマは自由ですが、最近では現代女性作家の作品やジェンダーに関する作品を選ぶ学生が増えてきました。私がジェンダー批評を専門としていることもあり、文学部に着任してまだ二年目ですが、ゼミの特色が少しずつ出てきたことを嬉しく感じています。

ゼミでは三・四年生それぞれに年間スケジュールを設け、見直しをもって研究に取り組めるようにしています。三年生は、後期に卒業論文のテーマを決定することを目標とし、前期には作品の収集方法や分析の基礎を学びます。また、ゼミ開始前の春休みには、新四年生の卒論で扱った作品を課題図書として読む機会を設けており、四年生の報告にも関心をもって参加できるようにしています。

多くの書評や先行研究を読んでもらうため、前期はグループ報告を取り入れ、全員

で図書館に行き、新聞や雑誌の検索方法を学びます。論文の書き方についても学ぶ時間を設けており、すでに執筆を始めている四年生にとっても、自分の文章や論文構成を見直す機会となっているようです。

小説を分析することとは、小説の言葉を書いている通りには読まない特殊な訓練が必要で、しかしだからといって、自分が感じたままに自由に妄想を膨らませてよいわけではありません。解釈に至った理由として、他人を納得させる論理的な説明が必要で、小説には作者が意図したこともしていないことも、全て書かれています。表に見える道筋ではなく、地下を蠢くような水路を発見することをイメージするとよいでしょう。

毎年、ゼミでは卒業論文集を刊行しています。あわせて、「どのように卒論を書いたか」を振り返る「卒論綴方」という文集も作成しています。これらは表と裏のような関係なので、後輩たちも私も面白く読んでいます。書くときは皆一人ですが、チームで取り組んでほしいです。追い込み時期には借金取り立て人(私)に対してゼミ生は自然と団結します。

(佐久本佳奈)



2025年度の卒業生と記念写真



卒業論文集

## 国文学科ヒストリー 24

## 1979年(昭和54年)

|        |              |
|--------|--------------|
| 1月13日  | 毒入りコーラ事件     |
| 2月11日  | イラン革命        |
| 3月25日  | 『語文』第47輯刊行   |
| 6月30日  | 日本大学国文学会総会   |
| 同日     | 『語文』第48輯刊行   |
| 9月22日  | 大学院学術研究発表会   |
| 10月26日 | 朴正熙韓国大統領暗殺   |
| 11月4日  | イラン米大使館人質事件  |
| 12月10日 | 大学院特別講義      |
| 12月15日 | 国文学科学術研究発表会  |
| 12月27日 | ソ連、アフガニスタン侵攻 |
| 12月31日 | 『語文』第49輯刊行   |

## 1980年(昭和55年)

|        |              |
|--------|--------------|
| 5月18日  | 光州事件         |
| 6月28日  | 日本大学国文学会総会   |
| 同日     | 『語文』第50輯刊行   |
| 7月17日  | 鈴木善幸内閣成立     |
| 9月1日   | 全斗煥、韓国大統領に就任 |
| 9月22日  | イラン・イラク戦争    |
| 9月27日  | 大学院学術研究発表会   |
| 11月4日  | レーガン、米大統領に当選 |
| 11月7日  | 大学院特別講義      |
| 11月29日 | 金属バット事件      |
| 12月20日 | 国文学科学術研究発表会  |

音が甚に溢れていました。SONYのウォークマンが発売されたのもこの年で、インベーダーゲームが大流行してシューティングの「キニシキ」や「ドラエもん」のテレビ放送が開始、歌謡曲では久保田早紀の「異邦人」がヒットしました。スポーツ界ではプロ野球のドラフトをめぐる江川事件が世間を騒がせ、日本シリーズは「江夏の21球」が話題になりました。一九八〇年はモスクワ・オリンピックの年で、前年のソ連のアフガニスタン侵攻を理由にアメリカ・日本などが参加をボイコットしました。不出場となった選手たちの涙が印象的でした。八月には日本航空機の墜落事故があり、十二月にはビートルズのジョン・レノンの銃殺事件がありました。ケンタッキー・フライド・チキンで御馴染みのカーネル・サンダーズが亡くなったのもこの年で。

【学内外の動き】一九七九年六月の国文学会総会では、三浦隆・寒河江實・永塚功・高野平ら諸氏の発表と、片桐洋一氏の講演がありました。七月には研究棟(現2号館)の工事のため、国文学科研究室が研究棟の7階に移転しています。十二月の大学院特別講義は、「平安朝日記の諸問題」と題する犬養廉氏の講演があり、十一月の大学院特別講義では小島憲之氏によって「日本文学研究における一つの



モスクワオリンピック



インベーダーゲーム

【国内外の動き】一九七九年は、いわゆる第二次石油ショックで「省エネ」が叫ばれた年で、若者の間ではインベーダーゲームが大流行してシューティングの「キニシキ」や「ドラエもん」のテレビ放送が開始、歌謡曲では久保田早紀の「異邦人」がヒットしました。スポーツ界ではプロ野球のドラフトをめぐる江川事件が世間を騒がせ、日本シリーズは「江夏の21球」が話題になりました。一九八〇年はモスクワ・オリンピックの年で、前年のソ連のアフガニスタン侵攻を理由にアメリカ・日本などが参加をボイコットしました。不出場となった選手たちの涙が印象的でした。八月にはビートルズのジョン・レノンの銃殺事件がありました。ケンタッキー・フライド・チキンで御馴染みのカーネル・サン

## 研究室訪問 一問一答

## ①今一番欲しいものは何ですか。

DeLonghiのエスプレッソマシン。イタリアに行ったらまりました。

## ②現在の夢は何ですか。

活気ある大学・地元の景色を見ること。

## ③よく行くお店(またはおすすめのお店)を教えてください(飲食店に限定せず)

たつみ・Agiobluely。いずれも下高井戸の飲み屋で大変お世話になっています。

## ④ご自身にとって最愛の人は誰ですか。

いうまでもないことです。

## ⑤子供の頃、大きくなったら何になりたいと思っていましたか。

医者。高校の時、理系科目が全くできないことに気づきました。



鈴木雅裕准教授(上代文学) 研究室

# 掲 示 板

## 文理学部資料館展示会案内

「並べる比べる—日本語日本文学資料展—」

会期：6月12日(金)～7月29日(水)

開館時間：平日 10:00～17:00

土曜 10:00～13:00

日曜 休館

※なお以下の日は変則的開館です。

土曜のうち6月13日・7月4日

は17:00まで延長

日曜のうち6月14日は特別開館

※臨時休館日は7月11日(土)です。

※詳細は資料館サイト(QRコード)でご確認ください。



16:30 講演：海野圭介(早稲田大学教授)

17:30 総会／18:10 閉会の辞

※詳細は、国文学会サイト(QRコード)をご覧ください。



## 国文学科短信

令和7(2025)年度国文学科学位記伝達式が3月25日、オーバルホールにて開催された。伊藤友香さんに優等賞、松尾美穂さんに学部長賞が授与された。国文学科卒業論文最優秀賞が伊藤友香さん「雑誌『戦旗』の抵抗表現の解体—娯楽と啓蒙の接点」、優秀賞に久保田真央さん「山岳観光地の言語景观—高尾山と御岳山を比較して—」と近藤結実花さん「X(旧Twitter)におけるネットミームについて」に授与された。

令和8(2026)年度4月2日には文理学部開講式が行われ、4月10日から前学期授業がスタートした。

令和8(2026)年度の国文学科スタッフは昨年度に引き続き、徳本善彦さん、中津陽菜(はるな)さん(以上、助手)、杉本なつみさん、吉永陽菜(ひな)さん、丸茂乃野子さん(以上、任期制職員)。

## 国文学会大会案内

日時：7月4日(土)

会場：オーバルホール(図書館3階)

12:30 評議員会／13:30 開会の辞

13:40 研究発表

黄志鹏(M2・中世) 肖葵(D2・中古)

洪優壘(D3・近現代) 伊與田麻里江(商

学部専任講師・近世)

## 『国文通信』お届け方法・バックナンバー・原稿募集のご案内

国文学科同窓会誌『国文通信』は、毎年度1回、6月末に刊行します。日本大学国文学会正会員のみならず、6月末刊行の学会誌『語文』と合わせて郵送でお届けしています。国文学会正会員ではない国文学科卒業生ならびに大学院国文学専攻修士生のみならずには、卒業・修了後も有効な在学時のNUアドレスを登録した国文学科同窓会メーリングリストから刊行に合わせてバックナンバーサイトのURLを配信しています。本誌のバックナンバーは、学科サイト(QRコード)から閲覧できます。

なお、本誌では、みなさまからの投稿を随時受け付けています。近況を「OBOGだより」でお知らせいただく、同窓会の呼びかけや案内など歓迎します。ただし、採否については編集委員会にご一任ください。

投稿、同窓会へのお問合せなどは、文理学部サイトの「各学科へのお問合せ」フォームから、「国文通信投稿」もしくは「同窓会問い合わせ」のタイトルでご連絡ください。「問い合わせ」QRコードからもアクセスできます。



第24号

2026年

6月25日発行

日本大学国文学会  
国文通信編集委員会  
日本大学文理学部国文学科  
同窓会事務局  
〒156-8550  
東京都世田谷区桜上水3-25-40

## 編集後記

本誌では皆様からの投稿を随時受け付けています。エッセイのほか、同窓会の案内や報告なども歓迎しますが、採否は編集委員会にご一任下さい。文理学部サイト内に設置してある各学科への「お問い合せ」フォームから送信できます。感想などもお寄せください。

◆令和七(二〇二五)年度で、主に日本語教育コース科目を担当

された野田尚史先生がご退職、金愛蘭先生が異動となりました。両先生のますますのご発展をご祈念致します。◆キャンパス展望では、変遷著しい文理学部キャンパスの紹介をさまざまな角度から行っています。京王線の高架化・複々線化工事の関係もあり、下高井戸駅や桜上水駅周辺も様変わりしています。そのような環境の変化についても折々、紹介できればと考えています。◆本誌『国文通信』は、国文学科同窓会をつなぐ唯一の媒体です。昨年度より年一度の刊行となりましたが、いろいろな情報を発信できるよう、編集委員会一同努力いたします。みなさま方からの投稿や情報発信もお待ちしております。◆本誌の今期編集委員会は、鈴木雅裕(上代文学)、高野奈未(近世文学)、田中ゆかり(委員長、日本語学)、袴田光康(中古文学)の4人体制で臨みます。

国文通信編集委員会